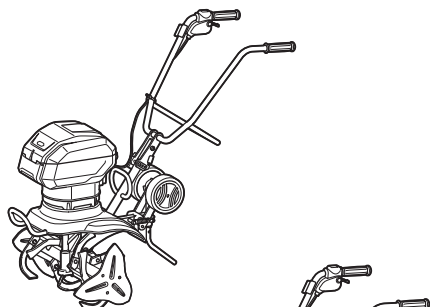


Makita

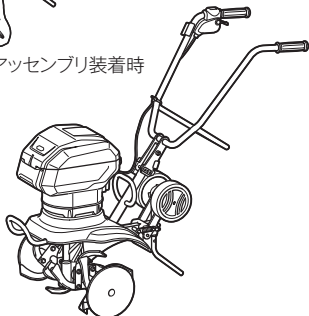
取扱説明書

充電式管理機

モデル MKR001G



スターロータアッセンブリ装着時



ロータアッセンブリ装着時

このたびは充電式管理機をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



もくじ

はじめに

主要機能	2
安全上のご注意	4
各部名称	18
標準付属品の確認	20
別販売品のご紹介	21
その他	22

ご使用前の準備

組み立て	23
バッテリー（別販売品）の充電	28
バッテリー／充電器の取り扱い	30
使用前に知っておいていただきたいこと	31

使い方

バッテリーの取り付け／取りはずし方法	33
本製品の操作	36
・作業前点検	36
・スイッチの操作	37
・耕うん方法	38
・ハンドルの高さ調整	40
使用後の取り扱い	41
・本製品の清掃	41
・運搬方法	43
・ハンドルの折りたたみ	47
・本製品の保管	48

保守／点検

保守	49
点検	50
消耗品の交換／補充	52
故障かな？と思ったら	54

充電式管理機 保証書……………裏表紙

はじめに

主要機能

主要機能		モデル
電動機		MKR001G DC ブラシレスモータ
使用可能バッテリー (別販売品)		リチウムイオンバッテリー 対応バッテリーの詳細は、21 ページの「別販売品のご紹介」を確認してください。
電圧		直流 36 V (40 V max) ※
耕うん部	爪軸	スターロータアッセンブリ：一体型 ロータアッセンブリ：分割型
	爪	ナタ爪
	ロータ径	スターロータアッセンブリ：260 mm ロータアッセンブリ：245 mm
	耕うん幅	スターロータアッセンブリ：585 mm ロータアッセンブリ：550 mm / 265 mm
	変速段数	前進 1 段
	耕うん軸回転速度	正転 85 min ⁻¹
ハンドル調節		3 段
ハンドル折りたたみ		可能
防じん・防水保護等級		IPX4
安全性検査合格番号		申請中

・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

※：40 V max は満充電時のバッテリー電圧を表しています。

バッテリーアダプタ類について

- ・ 本製品はバッテリーアダプタ類を使用できません。使用した場合、けがや事故の原因になります。

本製品の重量および寸法

装着バッテリー	質量	本製品寸法 長さ×幅×高さ
BL4025 (2個) ※ 1	24 kg	通常時：1,220 mm × 550 mm × 1,020 mm 収納時：764 mm × 550 mm × 690 mm
BL4080F (2個) ※ 2	29 kg	通常時：1,220 mm × 590 mm × 1,020 mm 収納時：764 mm × 590 mm × 690 mm

※ 1：ロータアッセンブリ装着時

※ 2：スターロータアッセンブリ装着時

1回の充電での作業量（連続運転時間）

- ・ 数値は参考値です。
- ・ 使用環境や使用条件によって作業量は変わります。

使用バッテリー	連続運転時間
BL4025（2個使用時）	約 20 分
BL4080F（2個使用時）	約 60 分

本製品（充電器、バッテリーは除く）は、雨の中での使用に耐えうる製品仕様となっていますが、故障しないことを保証するものではありません。以下のことに注意してください。

安全上のご注意

- ・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。

重要ポイント

1. 持ち運びのときは、必ず電源ボタンを切り、バッテリーをはずしてください。
2. ほ場に出入りするときは、あぜに直角に走行してください。
3. 点検／整備するときは、必ず電源ボタンを切り、バッテリーをはずしてください。
4. 補助者と共同作業を行うときは、合図をして周囲の安全を確認してください。
5. 作業や移動するときは、急発進、急旋回しないでください。

注意文の  **警告** ・  **注意** ・  **注** の意味について


ご使用上の注意事項は  **警告** と  **注意** ・  **注** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。

電動製品全般のご注意

⚠ 警告

作業環境

1. ご使用になるときは、周辺を整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 充電式製品から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - ・ 作業者以外、充電式製品や充電器のコードに触れさせないでください。
4. 落雷の恐れがある場合は製品を使用しないでください。
 - ・ 感電ややけどの恐れがあります。
5. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
 - ・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。
6. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
 - ・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. アース（接地）された金属製のものに身体を接触させた状態で充電式製品に触れないでください。
 - ・ 感電する恐れがあります。
3. 充電器、バッテリーは、雨中や湿気の多い所で、充電したり、保管しないでください。
 - ・ 充電器、バッテリー内部に水が入り、感電や発熱、発火、破裂する恐れがあります。
4. 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
5. 使用環境に適した延長コードを使用してください。
6. 充電式製品、充電器およびバッテリーは、雨の中に放置しないでください。
 - ・ 感電や発熱、発火、破裂の恐れがあります。
7. 雨の中で、バッテリーを製品からはずさないでください。
 - ・ 感電や発熱、発火、破裂の恐れがあります。

⚠ 警告

8. 濡れた手でバッテリーの端子や充電器の電源プラグ、電源コンセントに触れないでください。
 - ・ 感電の恐れがあります。
9. USB 端子付きの充電式製品や充電器は、USB 端子間を短絡（ショート）させないでください。
 - ・ 釘、針金が USB 端子内に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・ 充電式製品を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、充電式製品を使用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは充電式製品を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
2. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

充電式製品の使用および手入れ

1. 充電式製品は能力に合った作業に使用してください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、充電式製品の能力に合った負荷で作業してください。
2. 電源ボタンやスイッチに異常がないか点検してください。
 - ・ 電源ボタンやスイッチで始動および停止操作のできない充電式製品は危険です。使用せず修理をお申し付けください。
3. 充電式製品の誤始動を防ぐために、次の作業前は電源ボタンやスイッチを切り、バッテリーを充電式製品から抜いてください。
 - ・ 調整、付属品の交換
 - ・ 保管、または修理
 - ・ 充電式製品から離れるときや、受け渡し
 - ・ その他、危険が予想されるとき
4. 使用しない充電式製品、充電器およびバッテリーは、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
 - ・ 充電式製品や充電器からバッテリーを抜いて保管してください。
 - ・ 充電器は電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
 - ・ バッテリーはバッテリーカバーをつけて保管してください（バッテリーカバー付きの場合）。

⚠ 警告

5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
 - ・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ 充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 充電器に使用する延長コードは、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。
6. 取扱説明書で指定した付属品、アタッチメントなどを使用してください。
 - ・ 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、充電式製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。
7. 充電式製品、付属品やアタッチメントは、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
 - ・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
8. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。
9. 清掃の際は、バッテリー部、モータ部、電気接続部へ水を侵入させないようにしてください。
10. 高圧水での洗浄はしないでください。
 - ・ 破損、故障の原因になります。

バッテリーに関する安全事項

1. バッテリーを差し込む前に、電源ボタンやスイッチが切れていることを確認してください。
 - ・ 事故の原因になります。
2. バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。
 - ・ ほかのバッテリー用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
3. マキタが指定した専用バッテリー以外使わないでください。また、改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
 - ・ 充電式製品の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。
4. バッテリーの端子部を金属などで接触させないでください。
 - ・ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡（ショート）して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
 - ・ 充電式製品または充電器からはずした後は、バッテリーにバッテリーカバーを必ず取り付けてください（バッテリーカバー付きの場合）。

⚠ 警告

5. 高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
 - ・ 万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
 - ・ バッテリーの液は炎症ややけどの原因になることがあります。
6. バッテリーはマキタ製品以外に取り付けて使用しないでください。
 - ・ 火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
7. バッテリーは、火への投入、加熱をしないでください。
 - ・ 発火、破裂の恐れがあります。
8. バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしないでください。
 - ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
9. バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
 - ・ バッテリーを周囲温度が 50 °C 以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の中車内など）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
10. バッテリーの内部に塩水のような導電体を侵入させないでください。
 - ・ バッテリー内部に塩水のような導電体が侵入すると、感電や発熱、発火、破裂の恐れがあります。
11. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
12. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。
 - ・ 損傷、または使用できなくなったバッテリーは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。
13. 使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
 - ・ 棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されて短絡（ショート）し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。
14. バッテリーは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。
 - ・ 輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
 - ・ 電力量は、バッテリー裏側の注意ラベルに記載されています。
15. 使用中、使用後にバッテリーが熱くなることがあります。やけど、低温やけどの原因になるため注意してください。
16. バッテリーに切りくず、ホコリ、土などがたまらないようにしてください。
 - ・ 異常発熱によりやけどをしたり、発火、破裂または、作動不良によりけがに至る恐れがあります。

⚠ 警告

整備

1. 充電式製品は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - 充電式製品、充電器、バッテリーを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - 充電式製品が熱くなったり、異常に気づいたりしたときは点検・修理に出してください。
 - 充電式製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
 - アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

その他の安全事項

1. 保守や点検は雨を避けられる場所で行ってください。
2. 損傷した部品がないか点検してください。
 - 使用前に、部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
 - 破損した部品の交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。電源ボタンやスイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
 - < 異常・故障例 >
 - 充電式製品やバッテリーが異常に熱い。
 - 充電式製品やバッテリーに深いキズや変形がある。
 - 焦げくさい臭いがする。
 - ビリビリと電気を感じる。
 - 電源ボタンやスイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリーを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。
3. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
4. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
 - 爆発や火災の恐れがあります。

⚠ 警告

5. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
 - ・ ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニルなどの上では充電しないでください。
 - ・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを差し込まないでください。
 - ・ 綿ぼこりなど、ホコリの多い場所で充電しないでください。
6. 充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
 - ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
7. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。
8. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。
 - ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
9. 正しく充電してください。
 - ・ 充電器は定格表示してある電源で使用してください。
 - ・ 昇圧器などのトランス類や直流電源では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - ・ ラベルに「発電機」の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - ・ 周囲温度が 10℃未満、または周囲温度が 40℃以上ではバッテリーを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。バッテリーや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ 充電器の電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。
 - ・ 充電器を使用しないときは、電源プラグを抜いてください。
10. 充電器の電源プラグに濡れた手で触れないでください。
 - ・ 感電の恐れがあります。
11. 充電式製品を高圧電線の近くで使用しないでください（高圧電線対応製品は除く）。
 - ・ 誤動作や故障する恐れがあります。
12. 充電器で使用する延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安
 - ・ 充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の効率で支障なくご使用いただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

太さ（導体公称断面積）	長さの目安
2.0 mm ²	30 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- ・ ほかにの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

充電式管理機安全上のご注意

先に充電式製品として共通の注意事項を述べましたが、充電式管理機として、さらに次の注意事項を守ってください。

⚠ 警告

● 運転の前に

1. 本製品は、畑の耕うん作業などを行う管理機として使用してください。湿田では使用しないでください。また、改造や使用目的以外の作業はしないでください。
 - ・ 目的以外で使用されますと、けがや事故の原因になります。また本製品の寿命を縮めます。
2. 改造や使用目的以外の作業をした場合は、保証の対象にはなりませんのでご注意ください（詳細は保証書をご覧ください）。
 - ・ この取扱説明書記載の指示事項を守らなかった場合や、本製品を改造した場合、あるいは運転・保守作業にあたり、通常必要とされる注意または用心をしなかった場合に生じた損害または傷害に対しては一切責任を負いません。
3. 本製品は、国内での使用を前提にしています。したがって、海外諸国での安全規格などの適用・認定などは実施していません。
 - ・ この管理機を国外へ持ち出した場合に当該国での使用に対し、事故などによる補償などの問題が発生することがあっても、当社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。
4. 本製品を譲渡または貸与される場合は、相手の方に取扱説明書の内容を十分理解していただき、この取扱説明書を本製品に添付してお渡しくください。

● 運転者の条件

1. 以下の人は、運転をしないでください。誤操作しやすくけがや事故の原因になります。
 - ・ 過労、病気、薬物の影響、その他の理由により、正常な運転操作ができない人
 - ・ 18才未満の人
 - ・ 妊娠している人
 - ・ 酒気をおびた人
2. 作業に適した服装を着用してください。はち巻き・首巻き・腰タオル・サンダルを着用して作業しないでください。
 - ・ 回転部に巻き込まれて、けがの原因になります。
3. 作業帽・滑り止めのついた靴を着用し、保護メガネなどの作業に適した防護具などをつけてだぶつきのない服装をしてください。
 - ・ 本製品に巻き込まれたり、滑って転倒したりして、事故の原因になります。
4. 本製品を貸すときは正しい使い方を指導してください。取り扱いの方法をよく説明し、使用前に「取扱説明書」を必ず読むように指導してください。
 - ・ 借りた人が本製品の運転に不慣れなため、けがや事故の原因になります。

⚠ 警告

●作業をする前に

1. ほ場の状態をよく確認して、石・材木・針金・空き缶・空きビンなどを取り除いてください。
 - ・ 本製品が思わぬ方向に飛び出し、転倒してけがや事故の原因になります。
2. 長いワラ・草など作業に支障のあるものは、作業前に取り除いてください。
 - ・ 本製品が思わぬ方向に飛び出し、転倒してけがや事故の原因になります。
3. バッテリ着脱は、電源ボタンを切ってから行ってください。
 - ・ 事故の原因になります。
4. 作業をする前に、この取扱説明書を参考にして必要な点検は必ず行ってください。特に運転スイッチ関係は、忘れないでください。点検を怠ると、性能が出せないばかりか、故障したり、電源が切れなくなったりすることがあります。
 - ・ 破損や事故の原因になります。
5. 電源ボタンを入れる前に、安全カバー類がはずされたままになっていないか確認してください。
 - ・ 本製品に巻き込まれて、事故の原因になります。
6. 無理のないゆとりある作業計画をたててください。
 - ・ あせりなどがけがや事故の原因になります。
7. 電源ボタンを入れるときは、必ずレバーから手を放し、周囲の安全を確認してから行ってください。
 - ・ けがや事故の原因になります。
8. 車軸にタイヤ類を装着して自走させることは、絶対にしないでください。
 - ・ 破損や事故の原因になります。
9. 水の当たる場所や高温多湿の場所、大きな石の多い場所、材木・切株などのある開墾地では使用しないでください。
 - ・ 破損や事故の原因になります。
10. 発進するときは、周囲の安全を確認し、注意して発進してください。特に子供には注意してください。
 - ・ けがや事故の原因になります。
11. 無線機などの電気製品や、高圧線や変電所などの電波を発するものの近くで作業しないでください。
 - ・ 本製品が突然停止する恐れがあります。また、他の機器に影響を与えることもあります。
12. キャッシュカードなどの磁気を利用したカード類や、時計などの磁気製品を充電器や本製品に近づけないでください。
 - ・ カード類や磁気製品が使いなくなることがあります。

⚠ 警告

●作業中

1. 気象条件などに注意して、作業実施の判断、作業方法や装備の選択に十分配慮してください。
 - ・ けがや事故の原因になります。
2. 耕うん部などの回転部や、モータなどの熱くなる部分など、危険な箇所には、体や服が触れないように注意してください。
 - ・ けがや事故の原因になります。
3. 旋回するときは足もとに特に注意して、ロータ部に巻き込まれないようにしてください。
 - ・ けがや事故の原因になります。
4. 石をかみこんだり草が巻きついてロータが停止したときは、電源ボタンを切り、すべてのバッテリーを抜いてから異物を取り除いてください。
 - ・ けがや事故の原因になります。
5. 移動用車輪の上下はバネの力で作動するので、衝撃による打撲や指のはさみ込みに注意してください。
 - ・ 移動用車輪を跳ね上げるときにバネに触れると、手や腕を部品の間にはさんでけがの原因になります。
6. 傾斜地で作業する場合、転倒やスリップをしないようバランスに十分注意してください。
 - ・ 転倒してけがの原因になります。
7. 本製品は、前照灯を備えていませんので、夜間作業は絶対に行わないでください。
 - ・ 事故の原因になります。
8. あぜを横断するときは、いったん停止して、あぜと直角に走行してください。
 - ・ 事故の原因になります。
9. あぜの高さが爪軸の高さを越えるほ場の出入りでは特に、作業中ご自身が滑ったりしないよう、足場を十分確認しながら移動してください。
 - ・ 衝撃で本製品を破損させたり、スリップして転倒したりして、けがや事故の原因になります。
10. 土の硬いところでは、耕うん爪が土に入りきらず本製品が前方に飛び出す（ダッシング）場合があります。ハンドルをしっかりと持ち、ハンドルを押し下げて抵抗をかけゆっくりと耕うんしてください。
 - ・ けがや事故の原因になります。
11. 作業中は周りの人（特に子供）に注意してください。
 - ・ けがや事故の原因になります。
12. 作業を開始するときは、周囲の安全を確認し、特に補助者とともに作業するときは、声をかけて合図してから行ってください。
 - ・ けがや事故の原因になります。
13. 作業中は、作業中以外の人を本製品に近づけないでください。
 - ・ けがや事故の原因になります。

⚠ 警告

14. 本製品から離れるときは、「平らな場所」を選び、電源ボタンを切り、すべてのバッテリーを抜いてください。やむをえず坂道で本製品を停止させる場合は、本製品前方を坂道の下方向へ向けて停止させないでください。
 - ・ けがや事故の原因になります。
15. ロータに石などをかみこんだ場合は、電源ボタンを切り、すべてのバッテリーを抜いた後、爪をはずして取り除いてください。
 - ・ 爪軸側から無理に回すと故障します。

●本製品のトラックや自動車への積み込みおよび積み降ろし

1. トラックや自動車への積み込み、積み降ろしは必ず2人以上で行ってください。
 - ・ 1人で作業すると、けがや事故の原因になります。
2. 積み込み、積み降ろしは平たんで交通の邪魔にならない安全な場所で行ってください。
 - ・ 事故の原因になります。
3. 積み込むトラックや自動車は、エンジンを止め、変速をオートマチック車は「P」、ギヤミッション車は「R」または「1速」にし、駐車ブレーキをかけてから行ってください。
 - ・ 積み込み、積み降ろし時にトラックなどが動いて転落事故を引き起こす恐れがあります。
4. トラックに積み込み、積み降ろしをするときに、アユミ板は使用しないでください。
 - ・ 耕うん部がアユミ板に喰い込んで転落事故を引き起こす恐れがあります。
5. 本製品をトラックや自動車に積み込むために持ち上げるときは、ハンドルの固定ノブが確実に締まっていることを確認し、折りたたんでいる場合は必ずフロントグリップとリヤグリップを持って運んでください。絶対にその他の箇所を持って運ばないでください。
 - ・ けがや事故の原因になります。

●運搬

1. 本製品を運搬するときは、電源ボタンを切り、すべてのバッテリーを抜いてください。また、荷台からはみ出さないようにしてください。
 - ・ 転落事故を引き起こす恐れがあります。
2. トラックや自動車で運搬するときは、耕うん部が動かないように車止めの効果のあるもので動きを抑え、さらに本製品が転倒しないように、ハンドルもしくは抵抗棒をロープなどで必ず荷台に固定してください。また、運搬中は急発進・急旋回・急ハンドル操作をしないでください。
 - ・ 衝撃で本製品が破損し、転落事故の原因になります。

⚠ 警告

●点検および整備

1. 点検・整備は必ず電源ボタンを切り、すべてのバッテリーを抜いてから行ってください。
 - ・ けがや事故の原因になります。
2. 点検・整備は必ずモータを止め、モータなどの熱くなる部分が完全に冷えてから行ってください。
 - ・ やけどや事故の原因になります。
3. 本製品のご使用の前後に、日常の点検・整備を行うほか、定期的に点検・整備を行って常に安全な状態に保つようにしてください。
 - ・ 故障や事故の原因になります。
4. 指定以外のアタッチメントの取り付けや、改造は絶対にしないでください。
 - ・ 故障や事故の原因になります。
5. 点検・整備は皮手袋などの丈夫な手袋を着用し、適正な工具を正しく使用して行ってください。
 - ・ 整備中のけがや事故、整備不良による思わぬ事故の原因になります。
6. 点検・整備するときは、地面が平坦んで固く、明るく広い場所で行ってください。
 - ・ 故障や事故の原因になります。
7. 点検・整備するときは、常に本製品のバランスに気をつけてください。特に前方向には転倒しやすいので、前方へ力をかけるときは、転倒しないように十分注意をしてください。また、本製品と地面の間に足・指を挟まないように注意してください。
 - ・ 本製品が転倒すると破損や事故の原因になります。
8. ロータを交換するときは、必ず純正品を使用してください。
 - ・ 故障や事故の原因になります。
9. ロータの装着が終わったときは、指定の場所に確実に装着されているか、スナップピンがしてあるかどうか確認してください。
 - ・ ロータがはずれるなどしてけがや事故の原因となります。
10. 点検・整備で取りはずした安全カバー類は、必ず元の通りに取り付けてください。
 - ・ 本製品に巻き込まれて、けがや事故の原因になります。
11. 本製品を傾けたり、ハンドルを折りたたんだ状態で、水洗いをしないでください。
 - ・ 故障の原因になります。
12. 水洗いするときは、ハンドルの電源ボタン、スイッチレバー、ロックオフボタンには、水をかけないでください。
 - ・ 故障の原因になります。
13. 水洗い時や本製品を使用しないときは、必ずバッテリーをはずし、バッテリーカバーをしてください。
 - ・ バッテリーを本製品に差したまま水洗いしたり、放置したりすると、故障や事故の原因になります。

警告

●保管

1. 長期保管する場合は、電源ボタンを切り、すべてのバッテリーを抜いて保管してください。
 - ・ 本製品にバッテリーを差したまま保管していると、火災の原因になります。
2. シートなどを本製品にかけるときは、モータなどの熱くなる部分が完全に冷えてから行ってください。
 - ・ 作業が終わった直後の本製品にシートをかけると、火災の原因になります。

IP 表示について（防じん・防水性能）

IP 表示は IEC 国際規格により規定される電気機器への粉じんや水の侵入に対する保護等級を表します。

保護等級の分類と内容はつぎの通りです。

IP X 4 有害な影響を伴う水の侵入に対する保護等級（防水）

保護等級	内容
0～3	省略
4	あらゆる方向からの水の飛沫に対して保護されている。
5	あらゆる方向からの噴流水（12.5 ℓ /min）に対して保護されている。
6	あらゆる方向からの暴噴水（100 ℓ /min）に対して保護されている。
7	水に浸しても影響がないように保護されている。
8	潜水状態での使用に対して保護されている。

外来固形物の侵入に対する保護等級（防じん）

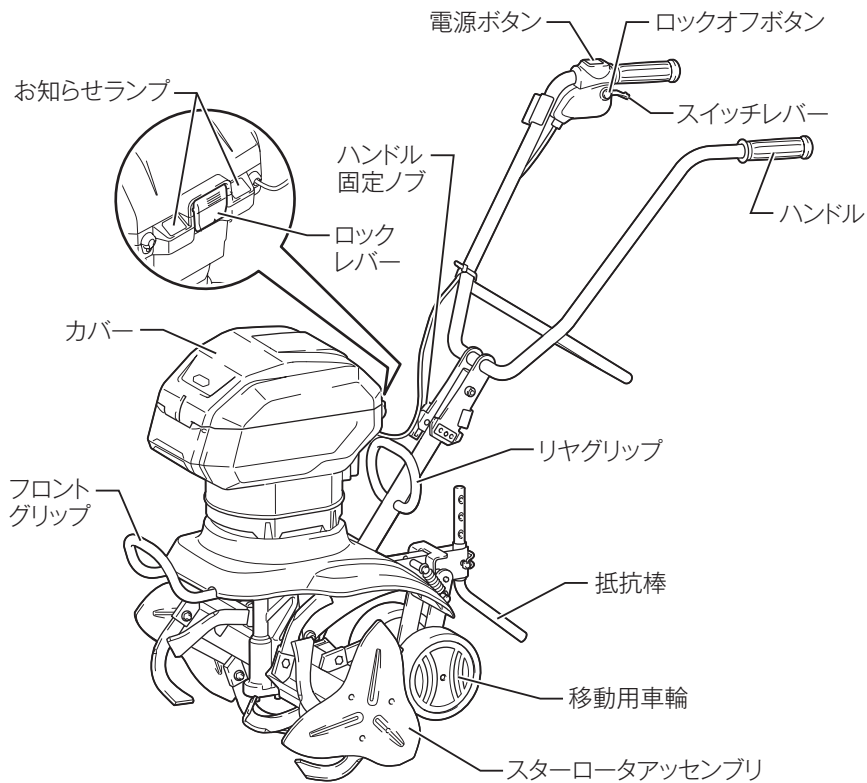
保護等級	内容
0～3	省略
4	直径 1 mm 以上の大きさの外来固形物に対して保護されている。 針金での危険箇所への接近に保護されている。
5	防じん試験用粉じん（直径 75 μm）が侵入しても、動作および安全性を損なわないように保護されている（防じん形）。
6	耐じん試験用粉じん（直径 75 μm）が侵入しないように保護されている（耐じん形）。
X	規定しない。

注

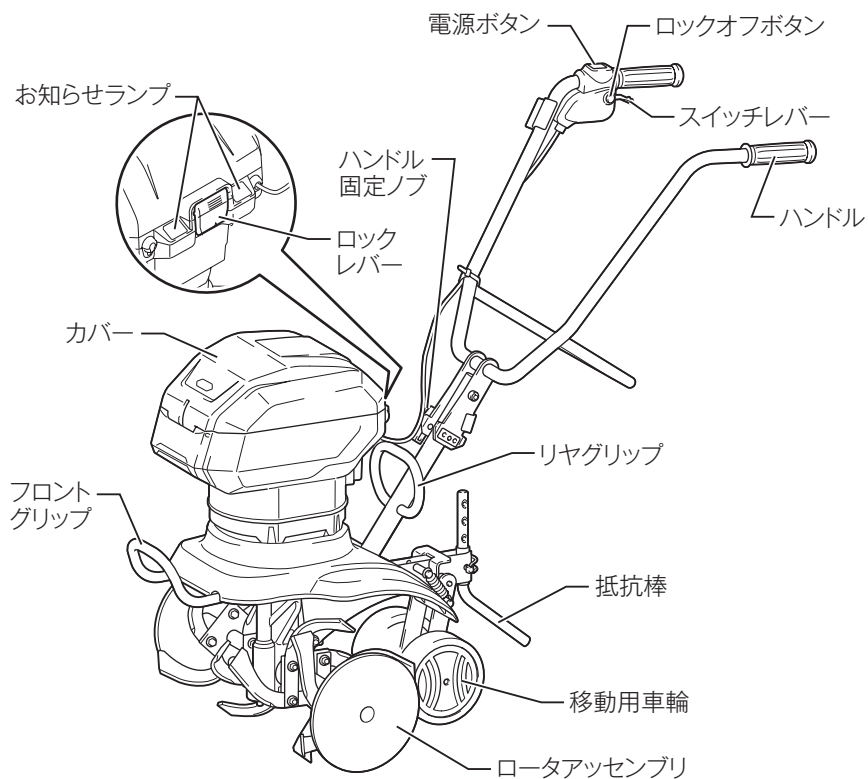
- IP 表示をしている製品は粉じんや水による影響を受けにくいように設計されていますが、故障しないことを保証するものではありません。
- 工具体体にバッテリーを装着した状態で、IEC 国際規格に規定された保護等級に適合しております。

各部名称

スターロータアッセンブリ（別販売品）装着時

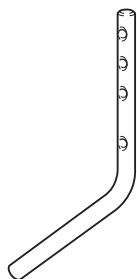


ロータアッセンブリ（別販売品）装着時



梱包部品の確認

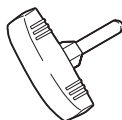
・抵抗棒



・パイプピン
(抵抗棒位置決め用)



・ハンドル固定ノブ



・皿バネ



標準付属品の確認

標準付属品	モデル	MKR001GZ
バッテリー		×
充電器		×
トレイアッセンブリ		○
抵抗棒		○
パイプピン (抵抗棒位置決め用)		○
ハンドル固定ノブ		○
皿バネ		○

別販売品のご紹介

- 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

品目	品名	部品番号
使用可能バッテリー (容量)	◎ BL4025 (2.5 Ah)	A-69923
	◎ BL4040 (4.0 Ah)	A-69939
	◎ BL4050F (5.0 Ah)	A-72372
	◎ BL4080F (8.0 Ah)	A-73368
対応充電器	DC40RA (急速充電器)	JPADC40RA
	DC40RB (2口急速充電器)	JPADC40RB

◎：使用推奨バッテリー

ロータ（車輪）

- スターロータアッセンブリセット品
モデル No. MKR00A
- ロータアッセンブリセット品
モデル No. MKR00B
- 培土けん引車輪
部品番号：A-53001
- 中耕車輪
部品番号：A-53039
- スパイラルロータ
部品番号：A-53045

培土器

- ニューイエロー培土器（尾輪付き）
部品番号：A-48991
- 小培土器
部品番号：A-53017
- ミニアポロ培土器
部品番号：A-53023

アンダートレイ

- トレイアッセンブリセット品
部品番号：A-76071

その他

- ADP10 充電器用互換アダプタ
部品番号：A-69967
充電器 DC40RA または DC40RB に取り付けることでマキタ 14.4 V/18 V バッテリーの充電が可能になるアダプタです。

その他

警告／注意ラベル

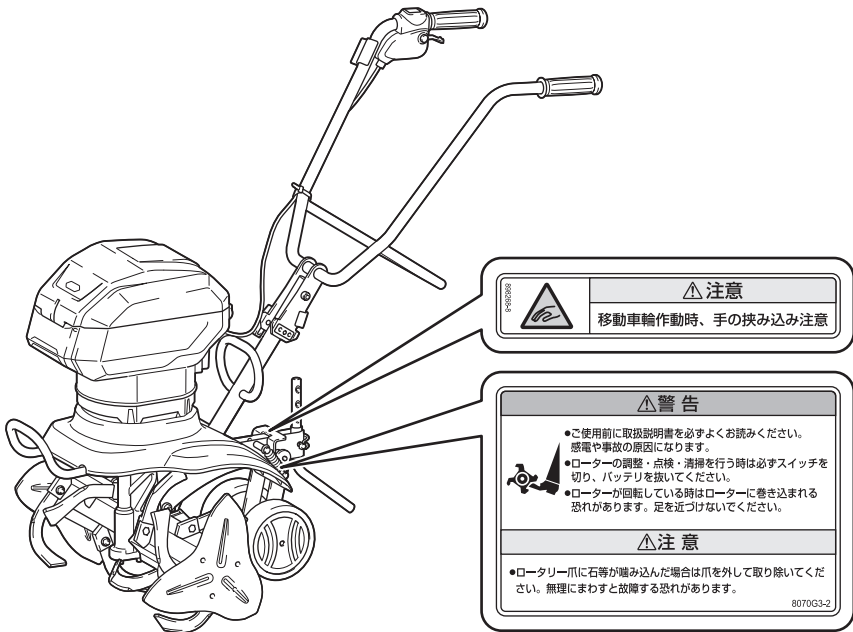
安全に使用していただくために、本製品には警告／注意ラベルが貼ってあります。警告／注意ラベルをすべて読んでからご使用ください。

警告／注意ラベルははっきりと見えるように、常にきれいにしておいてください。

本製品に貼ってあるラベルが汚れ、破れなどで読めなくなったときは、新しいラベルに貼り替えてください。またラベルが貼られている部分を交換する場合は、ラベルも新しいものと交換し、貼り付けてください。

ラベルの手配はお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

警告／注意ラベルが貼付してある部品を交換する場合は、同時に注意ラベルもお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。



ご使用前の準備

組み立て

⚠ 警告

各部を調節するときは、電源ボタンを切り、すべてのバッテリーを抜いてください。

- ・ 本製品が作動し、けがの原因になります。

各部を調節するときは、本製品のバランスに注意しながら行ってください。

- ・ バランスが不安定になり、転倒による傷害事故を起こす恐れがあります。

各部を調節するときは、必ず手袋を使用してください。

- ・ 傷害事故を引き起こす恐れがあります。

ロータの取り付け／取りはずし方法

⚠ 警告

ロータの組み立てや取りはずしの際は、必ず電源ボタンを切り、すべてのバッテリーを抜いてください。

- ・ 本製品が作動して、けがの恐れがあります。

⚠ 注意

ロータを取り付けるときは、ロータを取付ピンとスナップピンで確実に取り付けてください。

- ・ ロータが正しく取り付けいていないと異常振動し、事故の原因になります。

ロータの取り付け、取りはずしの際は、必ず手袋をしてください。

- ・ けがの原因になります。

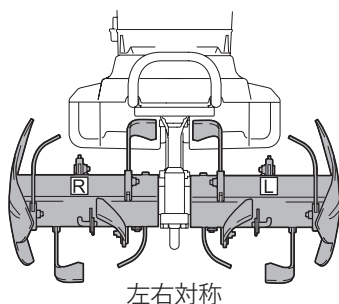
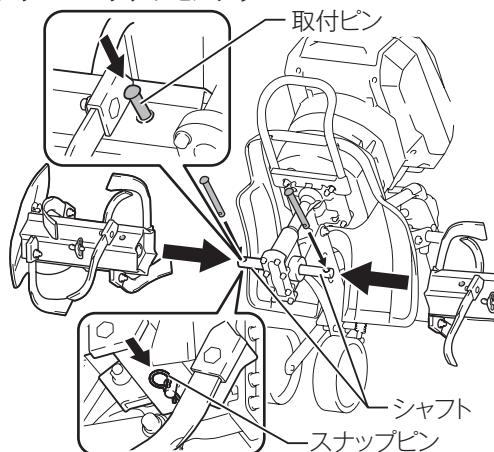
ロータに亀裂、欠け、変形、摩耗などの異常がないことを確認し、異常のあるものは使用しないでください。なお、ロータの点検時には必ず手袋を着用してください。

- ・ 異常があるとロータが破損し、けがの原因になります。作業時、ロータに異常が発生したときは、スイッチを切り、バッテリーをすべて抜き、ロータの回転が止まったことを確認してから点検、交換を行ってください。

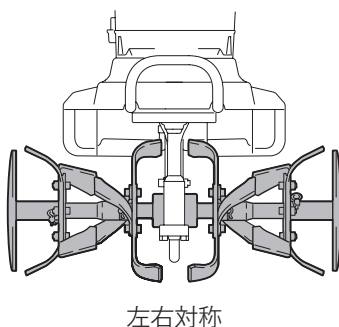
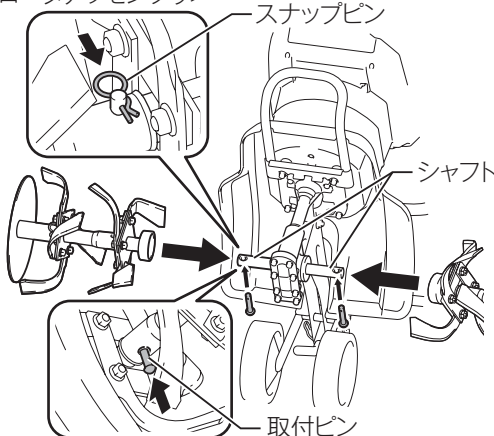
■ 取り付け方

1. 本製品を傾けます。
2. シャフトにロータを差し込みます。このとき、本製品の進行方向に対して、Lの表示があるロータは左側に、Rの表示があるロータは右側に取り付けます。
3. シャフトの固定穴とロータの固定穴を合わせます。
 - ・ ロータは左右対称になるように取り付けてください。
4. 取付ピンをシャフトの固定穴とロータの固定穴に通して、スナップピンで固定します。
5. 作業時完了後、本製品を元の姿勢に戻します。

<スターロータアセンブリ>



<ロータアセンブリ>



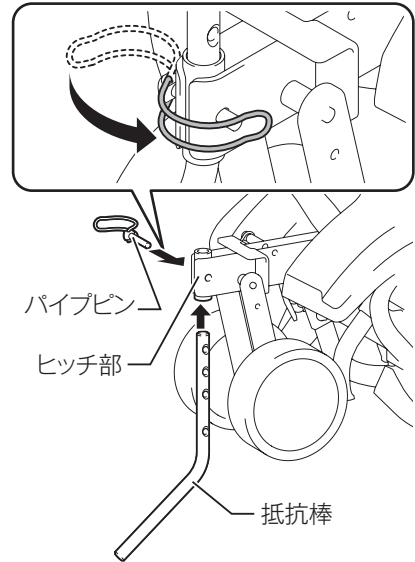
■ 取りはずし方

ロータを取りはずすときは、取り付け方と逆の手順で行います。

抵抗棒の取り付け

耕うん深さを調節したり、本製品が前方へ走るのを防止する役目をします。
耕うん深さは抵抗棒を上下に動かすことによって調節します。

1. 抵抗棒を本製品のヒッチ部に挿入します。
2. パイプピンをヒッチ部の穴と抵抗棒の穴に通して固定します。



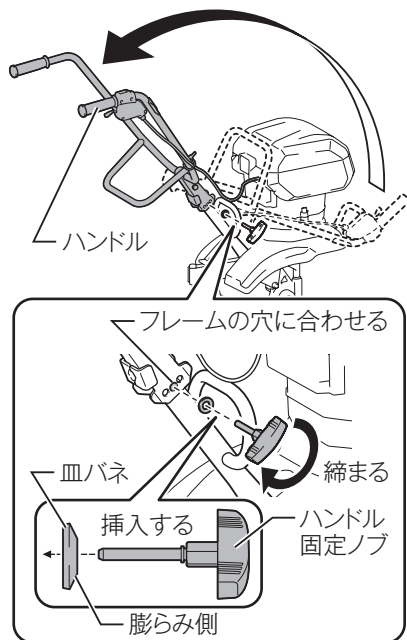
ハンドルの組み立て方

⚠ 注意

ハンドル調節は、平たんな場所で行ってください。
 ハンドル固定ノブをゆるめるときに、本製品のバランスをくずさないよう、抵抗棒を地面につけ安定した状態で調節を行ってください。
 固定ノブのロックを解除する前に、ハンドルをしっかりと保持してください。
 ・ ハンドルが落下し、けがの原因になります。
 ハンドルを組み立てる際は、コードをかみ込まないように注意してください。
 ハンドル固定ノブは、確実に締めてください。
 ・ しっかり締めないと操作中にゆるんで事故の原因になります。
 ハンドル調節時に、ハンドルとフレームの間に指を挟まないように注意してください。

ハンドルを起こして固定穴を合わせた後、ハンドル固定ノブと皿バネでフレームに固定します。

- ・ 皿バネの膨らみ側を、ハンドル固定ノブに挿入してください。
- ・ コードがかみ込まれていないか確認してください。
- ・ 固定ノブがしっかりと固定されていることを確認してください。



注

- ・ ハンドルを落とさないようしっかりと保持して作業を行ってください。
- ・ ハンドル固定ノブは必ずフレームに貫通させ、しっかりと固定されていることを確認してください。
- ・ ハンドル固定ノブとハンドルの間に挿入する皿バネは、膨らみ側がハンドル固定ノブ側にくるように使用してください。

移動用車輪について

⚠ 注意

移動用車輪の位置を変えるときは、製品を停止した状態で行ってください。

- ・ 守らないと、けがの原因になります。

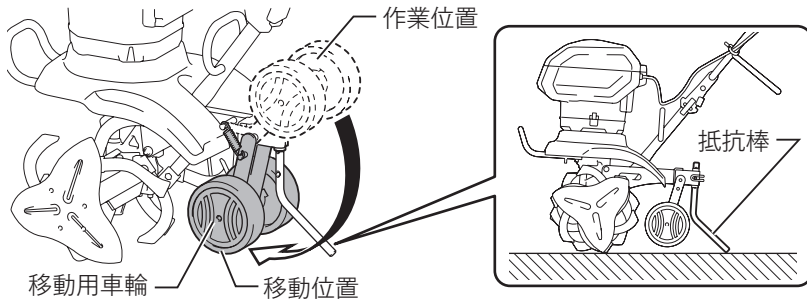
移動用車輪を使用するときは、地面の傾斜で本製品が傾き、移動用車輪が浮き上がらないようにしてください。

- ・ 本製品が転倒し、けがの原因になります。

移動用車輪はバネの力で作動するので、衝撃による打撲や指の挟み込みに注意してください。

移動用車輪を作業位置から移動位置へ手で下に変更します。

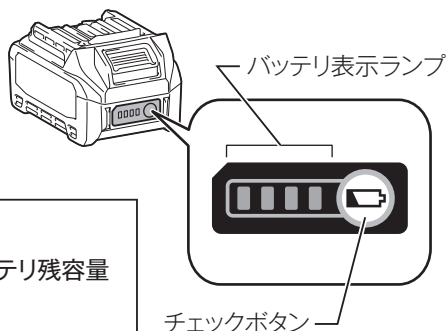
- ・ バランスをくずさないように、抵抗棒を地面につけ安定した状態で位置を変更します。



バッテリー（別販売品）の充電

バッテリー残容量表示

- ・ チェックボタンを押すとバッテリー表示ランプが残容量を数秒間表示します。



バッテリー表示ランプ	バッテリー残容量
■:点灯 ▨:点滅 □:消灯	
■ ■ ■ ■	75 % - 100 %
■ ■ ■ □	50 % - 75 %
■ ■ □ □	25 % - 50 %
■ □ □ □	0 % - 25 %
▨ □ □ □	充電してください。
■ ■ □ □ □ □ ▨ ▨	バッテリーの異常です。

注

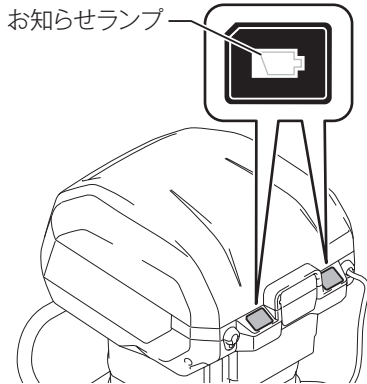
- ・ 表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。
- ・ バッテリー保護機能が働いた際は、左端のバッテリー表示ランプが点滅します。




バッテリーの充電方法

お客様がお持ちの充電器の取扱説明書に従って充電を実施してください。

お知らせランプについて

- ・ バッテリーの残容量が少なくなると、各バッテリーに対応するお知らせランプが点滅します。さらに使用すると、本製品は自動停止し、お知らせランプが点灯します。お知らせランプが点灯した場合は、バッテリーをはずして充電してください。



お知らせランプ	バッテリー残容量
 消灯	20 % - 100 %
 赤色点滅	20 %以下
 赤色点灯	0 %

注

- ・ バッテリー表示ランプと本製品のお知らせランプでバッテリー残容量表示が異なる場合があります。

バッテリー／充電器の取り扱い

バッテリーについて

- ・ お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていないため、充電器で正しく充電してからご使用ください。
- ・ 使用しないときはバッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やホコリから保護するのに役立ちます。
- ・ 使用しないときは本製品または充電器からバッテリーを抜いて保管してください。

バッテリーを長持ちさせるには

- ・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は周囲温度 10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・ 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリーは充電してから保管することをおすすめします。

バッテリーの回収について

- ・ 使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。



Li-ion

リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ




充電器の点検・修理・保管について

お客様がお持ちの充電器の取扱説明書に従って実施してください。

使用前に知っておいていただきたいこと

本製品およびバッテリーの保護機能

本製品を使用中に下記状態になるとモータが自動停止します。これは保護機能によるものです。

状態	対応	電源ランプ
本製品またはバッテリーの温度が高温になるとモータが自動停止します。	使用を中断して本製品よりバッテリーを取りはずし、冷却ファン付きの充電器で充電および冷却をしてください。	 電源ランプ： 赤点滅
	バッテリーを冷ましても本製品が動作しない場合は、本製品を冷ましてください。	 電源ランプ： 赤点灯
バッテリーの容量が少なくなると、モータが自動停止します。	本製品よりバッテリーを取りはずし、バッテリーを充電するか、充電されたバッテリーに交換してください。	 電源ランプ： 赤点滅
本製品が過負荷状態になるとモータが自動停止します。	いったん電源を切り、本製品よりバッテリーを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になります。	 電源ランプ： 緑点滅
スイッチレバーを握り込んだ状態で電源を入れると、電源ランプが緑色に点滅します。	スイッチレバーを放すと、点滅が解除されます。	

- ・ 電源ランプの点滅・点灯のタイミングは、周囲の温度やバッテリーの状態によって変化します。
- ・ 上記以外の症状で停止した場合、「故障かな?と思ったら」(54 ページ参照)に従って点検してください。

各種機能

■ 電気ブレーキ機能

- ・ スイッチレバーを放すと、電氣的に回転を止めます。ただし、バッテリーの残容量が無くなった場合、スイッチを入れたままバッテリーを抜いた場合や過負荷保護などの保護機能が作動した場合は、ブレーキ機能は作動しません。

また、バッテリーの残容量がある場合で、スイッチレバーを放しても本製品がすぐに停止しない状態が続く場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

使い方

バッテリーの取り付け／取りはずし方法

⚠ 警告

バッテリーは確実に本製品に差し込んでください。バッテリーを差し込んだ際に“カチッ”と音がしていない場合は完全にロックされていません。本製品のバッテリー差し込み口に“カチッ”と音がするまでしっかり差し込んでください。

- ・ 差し込みが不十分の場合、はずれて事故の原因になります。

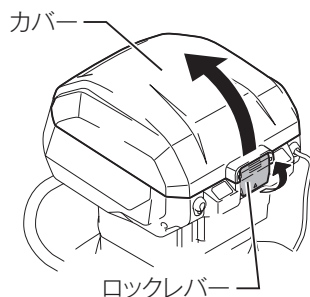
⚠ 注意

カバーを開けた状態で使用しないでください。

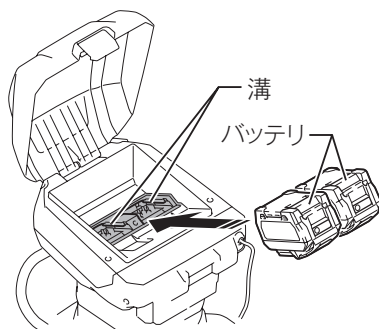
- ・ ホコリや水などが入り、本製品およびバッテリーが故障する恐れがあります。バッテリーを交換するときは、カバーを保持して行ってください。

取り付け方

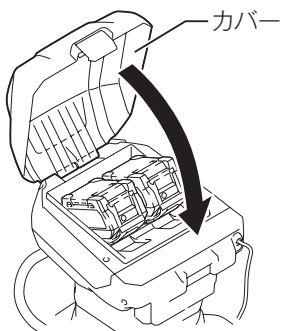
1. ロックレバーを引き、カバーを開きます。



2. バッテリーを図のような向きで溝に合わせ、カチッと音がするまで差し込みます。

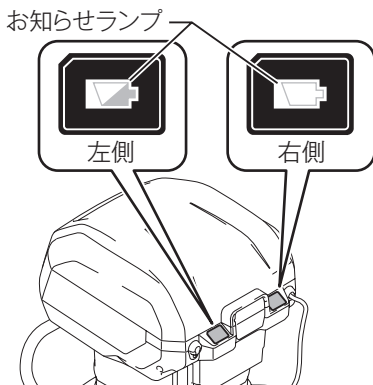


- カバーを閉じます。ロックレバーのロックがかかるまでカバーを押します。



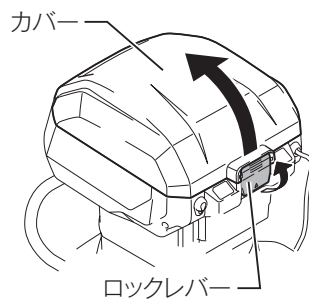
注

- 本製品はバッテリーを 1 個装着時でも使用可能です。右側と左側、どちらに差し込んでも使用できます。
- バッテリーを 2 個装着した場合は、左側に取り付けたバッテリーから優先に使用を開始します。
- バッテリーを 2 個装着時は、左側のバッテリーの容量がなくなると自動で右側のバッテリーに切り替わります。

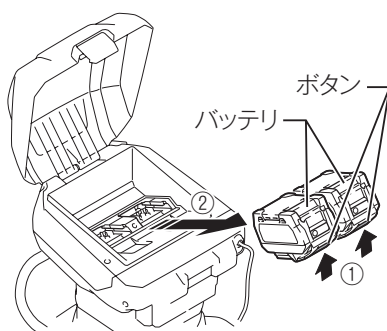


取りはずし方

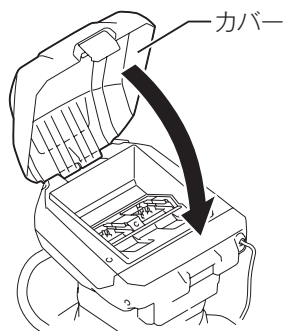
1. ロックレバーを引き、カバーを開けます。



2. バッテリーのボタンを①のように矢印方向に押しながら、②のようにバッテリーを引き出します。



3. カバーを閉じます。ロックレバーのロックがかかるまでカバーを押しませす。



本製品の操作

作業前点検

故障を未然に防ぐには、本製品の状態をいつもよく知っておくことが大切です。作業前点検は毎日欠かさず行ってください。

⚠警告

必ず電源ボタンを切り、本製品を停止してから行ってください。

- ・ 守らないと、手や衣服が巻き込まれたり、はさまれたりする恐れがあります。

作業前に必ずバッテリーを充電してください。また、バッテリーを接続するときは、接続口が濡れていないか、バッテリーケースが破損していないかを確認してから接続してください。

- ・ 守らないと、感電したり、発火・破裂の恐れがあります。

スイッチレバーの作動確認をする際は、周囲を確認して行ってください。

- ・ 守らないと、重大な傷害事故を引き起こす恐れがあります。

■ 点検項目

点検箇所	点検項目	処置
前日に異常のあった箇所	再度異常がないか。	異常の場合は「お買い上げの販売店」に相談してください。
警告／注意ラベルの点検	はがれ、破損などがあるか。	はがれ、破損などがある場合は新しいものに貼り替えてください。
バッテリー	バッテリーは充電したか。	充電してから作業を行ってください。
スイッチレバー	スイッチレバーを放したとき、ロータの回転が停止するか。	停止しない場合は電源ボタンを切り、「お買い上げの販売店」に相談してください。

スイッチの操作

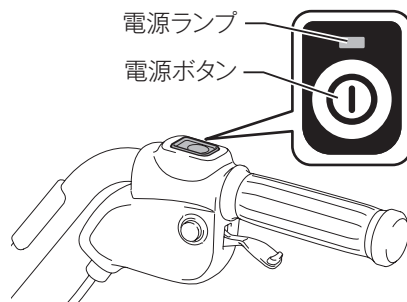
警告

電源ボタンを入れる際は、必ずロックオフボタンとスイッチレバーから指を放してください。

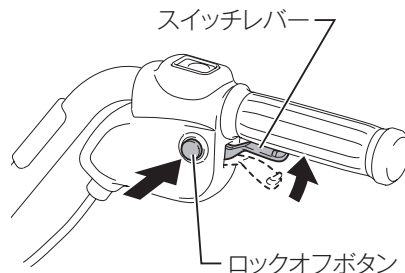
- ・ スイッチレバーを引いたまま行くと、事故の原因になります。

本製品を使用しないときは、必ず電源を切ってください。

1. 電源ボタンを押すと電源が入り、電源ランプが緑に点灯します。



2. ロックオフボタンを押した状態でスイッチレバーを引くとロータが回転します。スイッチレバーを放すとロータの回転が停止します。



注

- ・ スイッチレバーを放すと自動的にロックオフボタンが戻り、スイッチが入らない状態になります。
- ・ 本製品は、電源を入れた後に一定時間操作しないと自動的に電源が切れる機能を備えています。

■ 電源の切り方

電源ボタンを押すと電源が切れ、電源ランプが消灯します。

耕うん方法

⚠ 警告

土の硬いところでは、耕うん爪が土に入りきらず本製品が前方に飛び出す（ダッシング）場合があります。ハンドルをしっかりと持ち、ハンドルを押し下げて抵抗をかけゆっくりと耕うんしてください。

- ・ 傷害事故を引き起こす恐れがあります。

運転するときは、ハンドルをしっかりと握り、周囲の安全を確認し、人（子供）を近づけないでください。

- ・ 傷害事故を引き起こす恐れがあります。

運転するときは、ロータの近くに立たないでください。

- ・ 傷害事故を引き起こす恐れがあります。

⚠ 注意

運転前には必ず作業前点検を行ってください。

- ・ 正常な運転ができなくなり、思わぬ事故につながる恐れがあります。

発進させるときは、ハンドルをしっかりと握り、周囲の安全を確認し、人（子供）を近づけないでください。

- ・ 傷害事故を引き起こす恐れがあります。

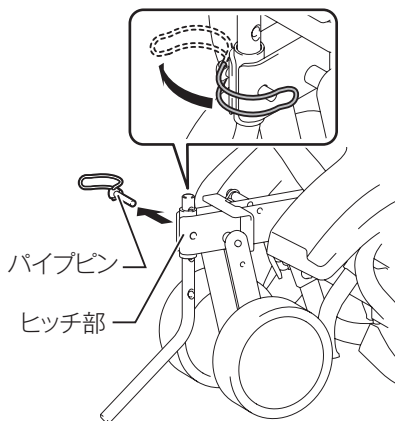
- ・ ハンドルを押し下げ、抵抗棒を土中に突っ込み抵抗をかけながら耕うんします。
- ・ 土の硬さによりハンドルを上下させ、抵抗棒の深さを調節しながら耕うんします。
- ・ ハンドルを押し下げ抵抗棒を深くすると深く耕うんでき、ハンドルを持ち上げ抵抗棒を浅くすると浅く耕うんできます。



■ 耕うん深さの調節

耕うん深さは、抵抗棒の高さを変更することで耕うん深さが調節できます。抵抗棒の高さは3段階に調節できます。

1. 抵抗棒を止めているパイプピンを引き抜きます。



2. パイプピンを通す穴位置を変更することで耕うん深さを調節できます。穴位置の変更後、パイプピンが確実にピン穴に挿入されていることを確認します。

①耕うん深さが深い側

- ・ 硬いほ場で本製品が前に進み過ぎるときは、抵抗棒を①耕うん深さが深い側にします。

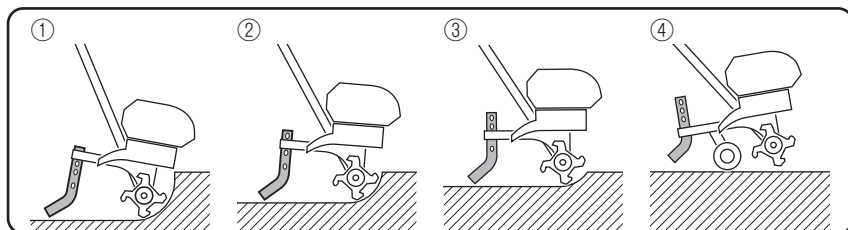
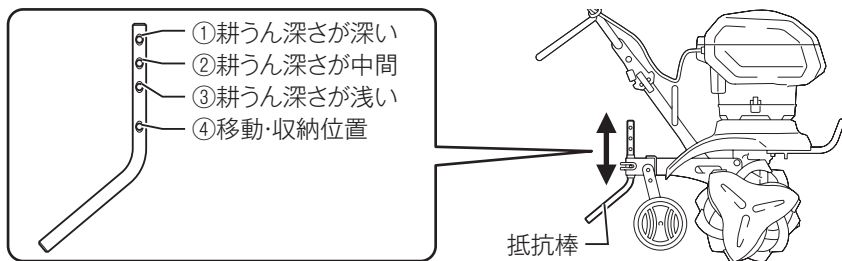
②耕うん深さが中間

③耕うん深さが浅い側

- ・ 柔らかいほ場でロータが沈むときは、抵抗棒を③耕うん深さが浅い側にします。

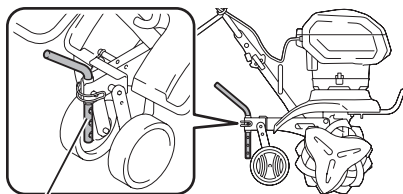
④移動・収納位置

- ・ 本製品を移動するときには、④移動・収納位置にします。

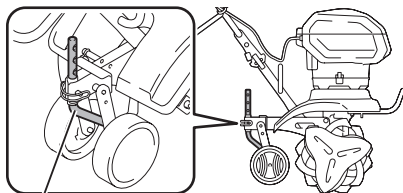


注

- 本製品の移動作業時に抵抗棒が障害物に干渉して移動できない場合は、反対向きに変更するまたは、逆向きに取り付けてください。



抵抗棒 (反対向き)



抵抗棒 (逆向き)

ハンドルの高さ調整

⚠ 注意

ハンドル調節時に、ハンドルとフレームの間に指を挟まないように注意してください。

ハンドル調節は、平たんな場所で行ってください。

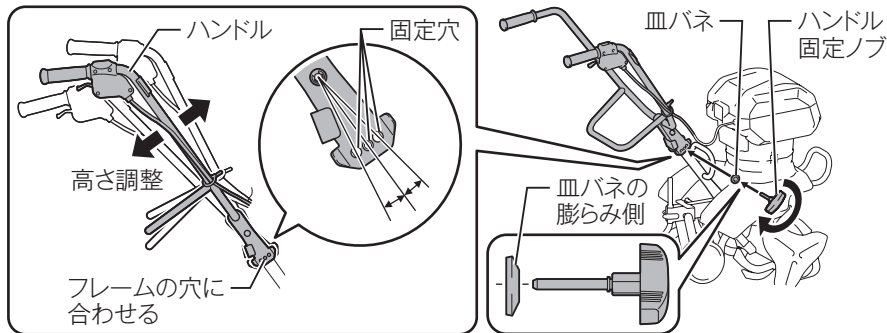
ハンドル固定ノブをゆるめたときに、本製品のバランスをくずさないよう、抵抗棒を地面につけ安定した状態で調節を行ってください。

固定ノブのロックを解除する前に、ハンドルをしっかり保持してください。

- ハンドルが落下し、けがの原因になります。

作業者の体格や作業状態にあわせてハンドル角度を3段階に調節することができます。

- 片手でハンドルを持ち、ハンドル固定ノブをゆるめて抜き取ります。
- フレーム穴と好みのハンドル角度調節穴を合わせます。
- ハンドル固定ノブを回して、ハンドルを締め付けます。
このとき、ハンドル固定ノブが、皿バネの膨らみ側から挿入されているか確認してください。



使用後の取り扱い

本製品の清掃

⚠ 警告

本製品を傾けたり、ハンドルを折りたたんだ状態で、水洗いをしないでください。

- ・ 守らないと、故障の原因となります。

水洗い時や本製品を使用しないときは、必ずバッテリーをはずし、バッテリーカバーをしてください。

- ・ 守らないと、故障・傷害事故の恐れがあります。

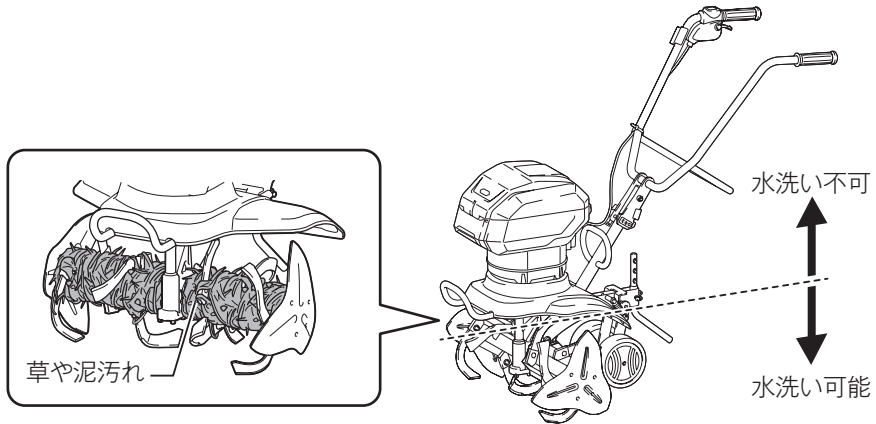
⚠ 注意

水洗いするときは、ハンドルのスイッチ部（電源ボタン、ロックオフボタン、スイッチレバーなど）を濡らさないように注意してください。

- ・ スwitchの故障の原因となります。

■ 日常の手入れ

- ・ ロータ、抵抗棒などに草や泥汚れなどが付着したときは、水洗いしブラシなどで汚れを落として乾いたタオルで拭いてください。
- ・ 使用後は、通気口のコロリやゴミなどを取り除き、乾いた布か薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。
- ・ 本製品を水平な状態に保ち、汚れをきれいに水洗いしてください。
- ・ バッテリー収納部などの内部に水が入った場合は、乾いた布できれいに拭いてください。



注

- ・ 高圧洗浄機による水洗いは絶対にしないでください。
 - ・ 本製品内部に水が入り、故障の原因になります。
- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、亀裂の原因となりますので使用しないでください。

運搬方法

⚠ 警告

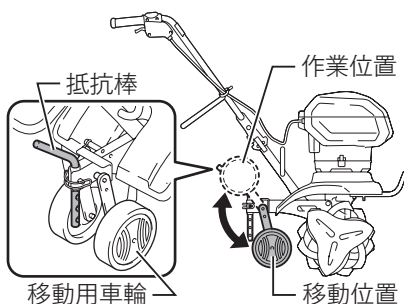
運搬時は、すべてのバッテリーを抜いてください。

- ・ 本製品が作動し、けがの原因になります。

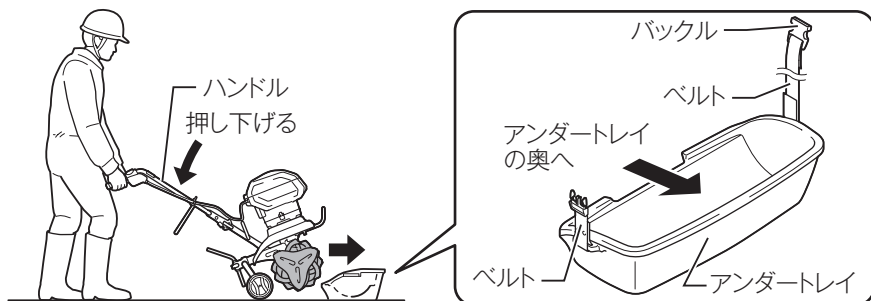
■ アンダートレイの装着

運搬時や収納時に汚れを防いだり、床を傷めないようにアンダートレイが装着できます。

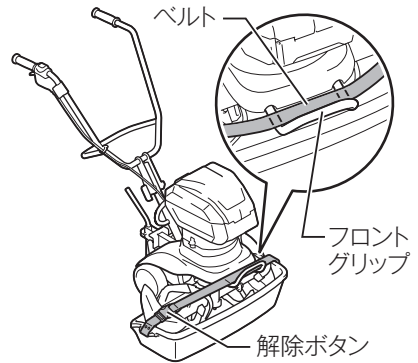
1. 移動用車輪を作業位置から移動位置へ変更して、抵抗棒を反対向きの位置にします。



2. アンダートレイの広い口を手前に向け、ハンドルを押し下げロータをアンダートレイの中へ入れます。
 - ・ アンダートレイへ入れるときは、ロータをアンダートレイの奥へ当てるようにすると入れやすくなります。



3. フロントグリップの根元にベルトをかけ、バックルで固定します。
 - ・ ベルトがゆるい場合はベルト調節部で調節してください。取りはずすときはバックルの解除ボタンを押してください。



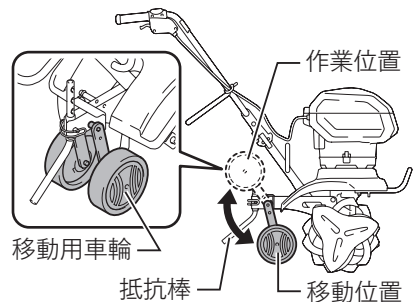
■ 車輪移動で運搬する場合

⚠ 注意

移動用車輪を使用するときは、地面の傾斜で本製品が傾き、移動用車輪が浮き上がらないようにしてください。

- ・ 本製品が転倒し、傷害事故を引き起こす恐れがあります。

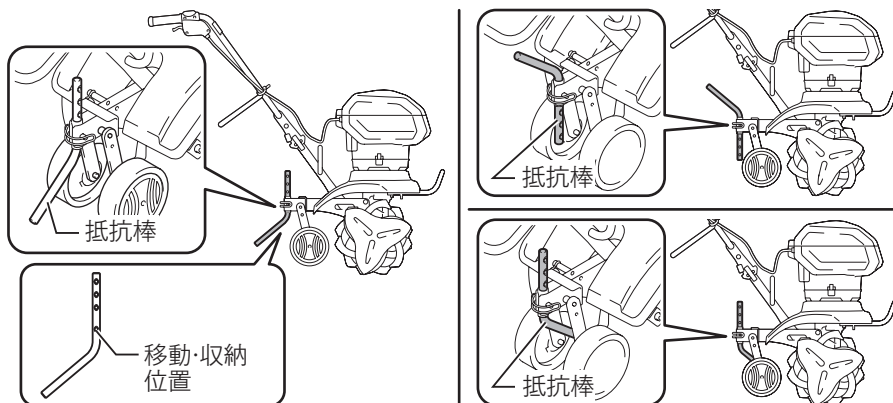
1. 移動用車輪を作業位置から移動位置へ手で変更します。
 - ・ バランスをくずさないように、抵抗棒を地面につけ安定した状態で位置を変更します。



注

- ・ 移動用車輪はバネの力で作動するので、衝撃による打撲や指の挟み込みにご注意してください。

2. 抵抗棒を移動位置にし、本製品を移動できる状態にします。
 - ・ 抵抗棒の高さ変更の詳細は、「耕うん深さの調節」(39、40 ページ参照)に従って作業を行ってください。



3. ハンドルを押し下げ、ロータを浮かせて移動してください。



■ 手持ち運搬する場合

⚠ 警告

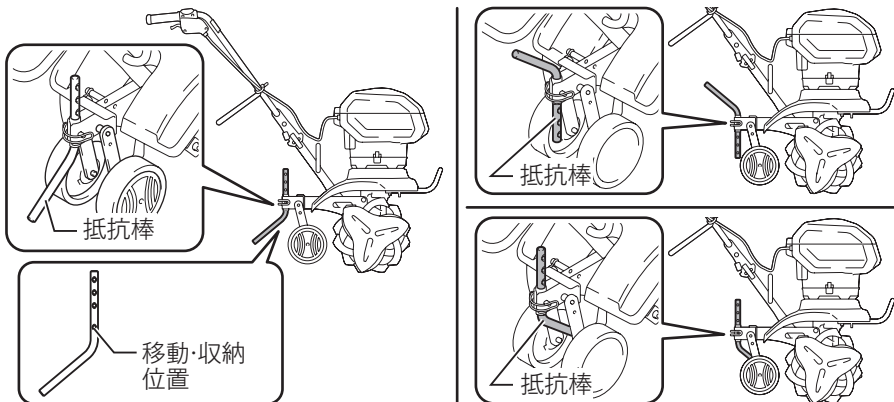
必ず2人以上で作業を行ってください。
本製品を持ち上げるときは、ハンドルを折りたたみフロントグリップとリヤグリップを持って運んでください。

- ・ 他の箇所を持つと、破損や変形をする恐れがあります。

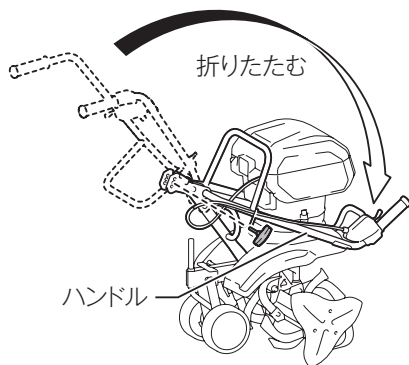
トラックや自動車へ積み込むときは、必ずすべてのバッテリーを抜いて、バッテリーは日の当たらない涼しいところへ置いて運んでください。また、長時間車内に放置しないでください。

- ・ 発火・破裂し、傷害事故を引き起こす恐れがあります。

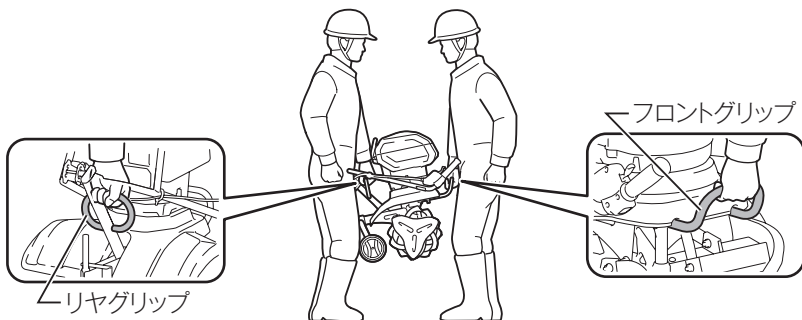
1. 移動用車輪と抵抗棒を移動位置にし、本製品を移動できる状態にします。
 - ・ 抵抗棒の高さ変更の詳細は、「耕うん深さの調節」(39、40 ページ参照) に従って作業を行ってください。



2. ハンドルを前方へ折りたたみます。
 - ・ ハンドルの折りたたみについての詳細は、「ハンドルの折りたたみ」(47 ページ参照) に従って作業を行ってください。



3. フロントグリップとリアグリップを持って、必ず2人で作業を行います。



ハンドルの折りたたみ

⚠ 注意

ハンドル調節は、平たんな場所で行ってください。
 ハンドル固定ノブをゆるめたときに、本製品のバランスをくずさないよう、抵抗棒を地面につけ安定した状態で調節を行ってください。

固定ノブのロックを解除する前に、ハンドルをしっかりと保持してください。

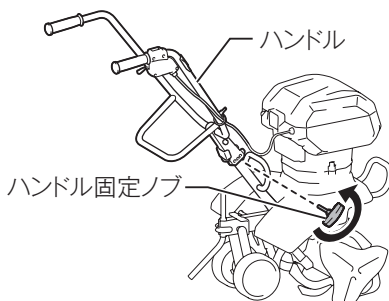
- ・ ハンドルが落下し、けがの原因になります。

ハンドルを倒す際は、コードをかみ込まないように注意してください。

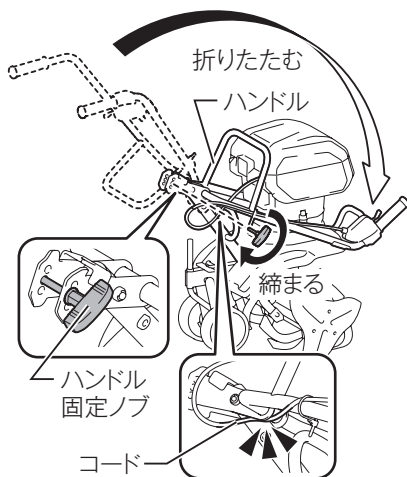
- ・ 指の挟み込みに注意してください。

ハンドル調節時に、ハンドルとフレームの間に指を挟まないように注意してください。

1. 片手でハンドルを持ち、ハンドル固定ノブをゆるむ方向に回転させ、フレームからハンドル固定ノブを抜きます。
 - ・ ハンドルが急に下がることもあるので注意してください。



2. ハンドルを前方へ折りたたみ、ハンドル固定ノブは元のネジ穴に軽く固定します。
 - ・ コードがかみ込まれてないか確認してください。
 - ・ 固定ノブがしっかりと固定されていることを確認してください。



注

- ・ ハンドルを落とさないようしっかりと保持して作業を行ってください。

本製品の保管

⚠ 警告

保管時は、必ず電源を切り、本製品よりすべてのバッテリーを抜いてください。

- ・ 本製品が作動し、けがの原因になります。
- ・ 本製品は屋内の鍵のかかる涼しく乾いた場所に保管してください。

⚠ 注意

シートなどを本製品にかけるときは、モータなどの熱くなる部分が完全に冷えてから行ってください。

- ・ 守らないと、火災の原因になることがあります。

次の場所には保管しないでください。

- ・ 子供の手が届いたり、持ち出せる所に保管しないでください。
- ・ 直射日光の当たる所に保管しないでください。
- ・ 軒先など雨がかったり、湿気のある所に保管しないでください。
- ・ 本製品が 40 °C 以上になる場所に保管しないでください。

■ 通常保管する場合

- ・ 管理機は保管する前に、きれいに清掃してください。
- ・ 安定した水平な場所に保管してください。
- ・ 保管はできる限り屋内にしてください（屋根があり、雨の当たらない場所）。

■ 長期間保管する場合

管理機を長い間（約 30 日以上）使用しない場合は、保管する前に下記の作業を行ってください。

- ・ 保管する前に、きれいに清掃してください。
- ・ 不具合箇所は整備してください。
- ・ 各部のボルト、ナットのゆるみを点検し、ゆるんでいれば締めてください。
- ・ 保管場所は、周囲に燃えやすいものがなく、雨が当たらない湿度の少ない場所を選定しシートをかけるようにしてください。

長期保管後の再使用时は、特に次の内容に注意してください。

- ・ 作業前点検を確実に行ってください。
- ・ 必ずバッテリーを充電してから使用してください。

保守

⚠ 警告

耕うん幅の調節の際は、必ず電源を切り、本製品よりすべてのバッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを本製品に差し込んだまま行くと、事故の原因になります。

必ずロータが止まっていることを確認してから行ってください。

- ・ けがの恐れがあります。

耕うん幅の調節の際には、手袋を着用してください。

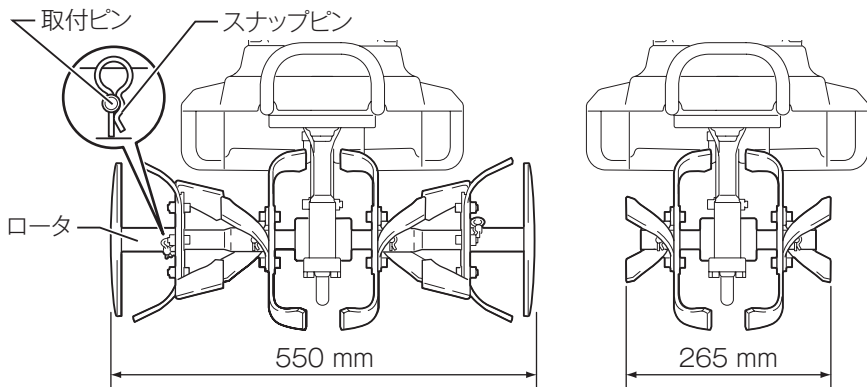
- ・ けがの恐れがあります。

耕うん幅の調節方法（ロータアッセンブリのみ）

作業する幅に合わせて、ロータを分割することができます。

スナップピンをはずし取付ピンを抜くことにより外側のロータをはずすことができます。

- ・ 作業する幅に合わせて、耕うん幅を調節してください。
- ・ ロータの組み立て状態と耕うん幅の関係は、下図のようになります。



点検

⚠ 警告

点検の際は、必ずスイッチを切り、本製品よりすべてのバッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを取り付けたまま行くと、事故の原因になります。

点検の際は、必ず手袋を装着してください。

点検の際は、本製品を安定した水平な場所に置いてください。

水洗い時や本製品を使用しない場合は、必ずバッテリーをはずしバッテリーカバーをしてください。

- ・ 故障・感電の恐れがあります。

⚠ 注意

- ・ 点検整備項目の中には、消耗品の扱いとなっている部品も含まれています。交換が必要な部品は純正部品を注文してください。
- ・ 専門的な技術や特殊な工具を必要とするときは、「お買い上げの販売店」へお問い合わせください。
- ・ 不要になったバッテリーなどは、専門の処理業者、または「お買い上げの販売店」へ依頼して処理してください。バッテリーを捨てたり放置すると、法令違反となり処罰されます。

点検整備

最初のシーズンを終了したときは、必ず初期点検整備を実施してください。初期点検整備は、本製品の耐久性にとって大事な項目ですので「お買い上げの販売店」での点検、整備をおすすめします。

■ 定期点検・点検箇所一覧表

○：点検、補充、調整

★：「お買い上げの販売店」での交換・点検をおすすめします。

点検項目		点検頻度	作業前	初期点検	初期点検後2年毎	参照ページ
本製品	運転スイッチの作動確認		○	★	★	37
	各部ボルト・ナットのゆるみ		○	★	★	—
	各ピン類の脱落確認		○	★	★	24
						49
						53
	電源ランプの点灯確認		○	★	★	31
電源ボタンの作動確認		○	★	★	37	
	警告／注意ラベルの損傷はがれ		○	★	★	22
充電器	電源コードの損傷		○	★	★	—
	表示ランプの点灯		○	★	★	—
バッテリー	傷・ワレ・変形の確認		○	★	★	—
	各ラベルの損傷はがれ		○	★	★	—

消耗品の交換／補充

ロータ（別販売品）の点検・交換

⚠ 警告

点検、整備、ロータの交換の際は、必ず電源を切り、本製品よりすべてのバッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを本製品に差し込んだまま行くと、事故の原因になります。

必ずロータが止まっていることを確認してから行ってください。

- ・ けがの恐れがあります。

点検、整備、ロータの交換の際には、手袋を着用してください。

- ・ けがの恐れがあります。

⚠ 注意

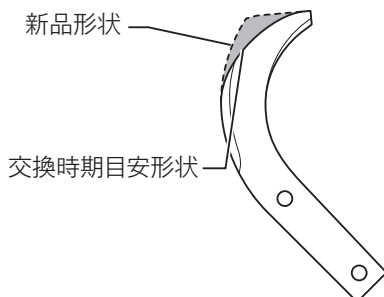
ロータを取り付けるときは、ロータを取付ピンとスナップピンで確実に取り付けてください。

- ・ ロータが正しく取り付けいていないと異常振動し、事故の原因になります。

作業時、ロータに異常が発生したときは、スイッチを切り、バッテリーをすべて抜き、ロータの回転が止まったことを確認してから点検、交換を行ってください。

■ 交換時期

ロータは先端が摩耗し、十分に耕うんできなくなりましたら交換時期です。

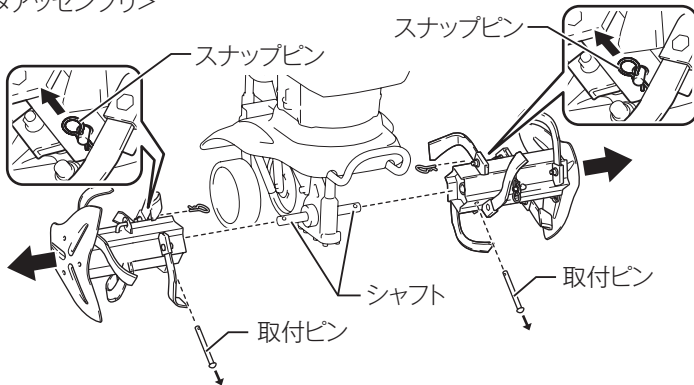


■ 取りはずし方

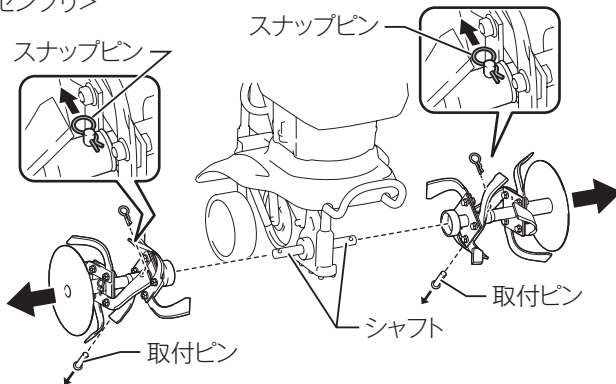
ロータを取りはずすときは、取り付け方と逆の手順で行います。

1. スナップピンを取りはずし、取付ピンを抜き出します。
2. 本製品のシャフトからロータを取りはずします。

<スターロータアッセンブリ>



<ロータアッセンブリ>



注

- ・ ロータの摩耗が約半分を超えたら交換時期です。効率のよい作業をしていただくために早めにお取り替えください。
- ・ ロータの交換は純正のロータを使用してください。

■ 取り付け方

ロータの取り付け方の詳細は、「取り付け方」(24 ページ参照)に従って作業を行ってください。

故障かな？と思ったら

トラブルシューティング

症状	原因	対処
バッテリーが挿入されている状態で、電源ボタンを押しても、電源が入らない。	バッテリーが入っていない。	充電されたバッテリーを差し込んでください。
	バッテリーの故障	正常なバッテリーに交換してください。
	電源ボタンの故障	修理をお申し付けください。
ロータの回転が低い。	バッテリー残容量が少ない。	バッテリーを充電する。または、充電されたバッテリーに交換してください。
	回転伝達部の故障	修理をお申し付けください。
少し使用するとロータの回転が止まってしまう。	バッテリー残容量が少ない。	バッテリーを充電する。または、充電されたバッテリーに交換してください。
	耕うんが深過ぎ、モータの温度が高い。	耕うんの深さを浅くしてください。
	石などの異物がロータに挟まった。	スイッチを切り、異物を取り除いてください。
	回転伝達部の故障	修理をお申し付けください。
ロータが回転しない。	電源ボタンが押されていない。	電源ボタンを押してください。
	ロックオフボタンが押されていない。	ロックオフボタンを押しながら、スイッチレバーを引いてください。
	スイッチレバーの故障	修理をお申し付けください。
ロータが停止しない。	スイッチレバーの故障	修理をお申し付けください。
異常な振動がする。	ロータがワレたり、欠けている。	新品のロータに交換してください。
	ロータを固定するボルトがゆるんでいる。	取扱説明書に従ってロータを正しく取り付けてください。

修理を依頼される前に、下記項目を点検してください。

症状

- 本製品が停止する
- 始動しない

原因

保護機能※が働き、本製品またはバッテリーが機能停止している可能性があります。

解消方法

スイッチを切って、再度入れてください。

↓ 解消しない

バッテリーを充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。

↓ 解消しない

本製品を十分に冷ましてください。

↓ 解消しない

お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

※保護機能については 31 ページ参照。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 修理をお申し付けの際は、本製品、バッテリー、充電器を一緒にお持ちください。

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)

881J50A2

IWT